

村田町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

むらたっ子応援団事業では、家庭・地域・学校の連携・協働のもと、子どもたちの学びの充実を図る活動を展開している。また、活動をとおして生まれる「人とのつながり」を重視し、地域が一体となって子どもたちを育む体制づくりをめざし、併せて町民が培ってきた知識や技能を活用する機会の充実を図っている。

○新型コロナウイルス対策について

□地域ボランティア等の活動にあたっての留意事項

- ①活動への出発前には、検温による体温確認を依頼
- ②マスクの着用を依頼
- ③活動の前後には手洗いや手指消毒を依頼

※概ね活動5日前から当日にかけて、以下のような症状がある場合は参加を控えてもらうよう依頼

- ①発熱や咳などの風邪症状がある場合
- ②強いだるさ、息苦しさがある場合
- ③味覚や嗅覚に異常がある場合

2 地域学校協働本部について

(1) むらたっ子応援団協議会

子どもたちを地域全体で育むため、家庭・地域・学校の関係各者が連携し、子どもたちの「学び」の充実に向け、事業全体の活動方針・計画の策定や活動の助言・指導、評価・検証を行う。

(2) 村田町地域学校協働本部

むらたっ子応援団協議会で立案された計画や方針、事業の評価・検証に基づき、子どもたちや保護者の学びを充実させるための取組を行う。

(3) コーディネーター

町教育委員会生涯学習課の社会教育指導員が統括コーディネーター（兼地域コーディネーター）としての役割を担う。

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内容	備考(会場・対象・参加人数)
家庭教育学級	<p>「親子ふれあい体操」 講師：仙台大学 子ども運動教育学科 教授 原田 健次 氏</p> <p>・年齢に適した親子のできる体操をと おして、親子でふれあう手法を学び、家 庭での親子のよりよいコミュニケー ション能力を育成する。</p>	<p>6月25日(金) 沼辺幼稚園(沼辺地区公民館) 親子 30組</p> <p>11月4日(木) 村田保育所(村田町民体育館) 親子 77組</p> <p>12月10日(金) 村田幼稚園(村田町民体育館) 親子 75組</p>
	<p>「幼児と発達～子どもの理解と対応～」 講師：宮城県立山元支援学校 教諭 松原淳子 氏</p> <p>・保護者に対して「親子間の愛着形 成の促進」「基本的生活習慣の確 立」「豊かな体験活動による学び の促進」等についての学びの場を 提供し、自らの子育てについて見 直すきっかけをつくる機会とす る。</p>	<p>10月26日(火) 村田幼稚園(村田町民体育館) 保護者 13名</p> <p>11月26日(金) 沼辺幼稚園(沼辺地区公民館) 保護者 18名</p>



【家庭教育学級】

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考(会場・対象・参加人数等)
ザ・サイエンス クラブ	<p>「冬の夜空における天体学習」</p> <p>・講話(映像などを使った天体や星座 の基礎的事項等)や望遠鏡を使用し た観測の実践をとおして、季節の天 体について学習する。</p>	<p>沼辺地区公民館 小学生及びジュニアリーダー (2月開催予定)</p>

野外活動 体験事業	①「夏の子ども村『防災』キャンプ」 ②「春の子ども村キャンプ」 ・ジュニアリーダーの指導のもと、異年齢集団でのキャンプ生活をとおして思いやりや自主性、たくましく生きる力を養う。	①村田町中央公民館 ほか 小学生 62名 ジュニアリーダー 29名 ②村田町中央公民館 小学生及びジュニアリーダー (3月開催予定)
ジュニア・リーダー活動 (会員37名)	「マボック発表会」 ・ジュニア・リーダーが自ら企画したレクリエーションやゲームなどの手作りのクリスマス会を子どもたちにプレゼントすることで、お世話になった人に対する感謝の気持ちをもてるようにする。 ・地域ボランティアの活動をとおして自主性や協調性を養い青少年リーダーとしての資質・能力をさらに高められるようにする。	村田町中央公民館 子ども 52名 ジュニア・リーダー 25名



【夏の子ども村『防災』キャンプ】

【マボック発表会】

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考(実施機関)
安全支援(登下校時)	児童生徒の登下校時の安全見守り	村田小学校・村田第二小学校
安全支援(校外活動)	園外保育	村田幼稚園・村田保育所
本の読み聞かせ活動	本の読み聞かせ(朝・放課後)	村田小学校・村田第二小学校
教科支援	歴史の学習, 文化体験 等	村田小学校・村田第二小学校・
農業体験学習支援	野菜等の栽培・収穫, 紅花の栽培・収穫, 米づくり, 大豆栽培 等	村田幼稚園・沼辺幼稚園・村田保育所・村田小学校・村田第二小学校・村田第二中学校
行事支援	七夕飾りづくり, 餅つき会, だんごさし体験 等	村田幼稚園・沼辺幼稚園・村田保育所
環境整備支援	幼稚園敷地内の庭木剪定 等	沼辺幼稚園
部活動支援	村田第二中学校卓球部	村田第二中学校



【紅花の種まき】



【園外保育】



【お米の話】



【野菜の苗植え】



【七夕飾りづくり】



【紅花の収穫】

(4) むらたっ子応援団事業で実施した研修会等

事業名	内容	備考(会場・対象・参加人数)
むらた庭木剪定 講習会	庭木剪定の技術向上 活動とおした生徒との交流 新規ボランティアの養成	①村田第一中学校 むらたっ子応援ボランティア 及び一般町民 9名 ②村田第二中学校 むらたっ子応援ボランティア 及び一般町民 11名
読み聞かせボラン ティア情報交換会	会員近況報告 次年度の活動について など	村田町中央公民館 むらたっ子応援ボランティア (2月開催予定)



【むらた庭木剪定講習会】

4 成果と課題

地域学校協働本部の設置による新体制となって3年目の今年度は、昨年度同様、コロナ禍において計画どおり事業を実施できない部分があるものの、家庭・地域・学校の連携・協力体制が年々強化され、このような状況下においても組織間で調整を図りながら活動を行っている。

引き続き、活動に携わる地域ボランティアや地域連携担当などの意見を共有し、コロナ禍における活動も含め、よりよい事業のあり方について検討していきたい。

村田町立村田第二小学校



〒989-1321 柴田郡村田町大字浪辺字種田27
 TEL:0224-52-5922 FAX:0224-52-6550
 校長 高橋 誠
 児童数 130名
 PTA会員数 97名



～学校教育目標～
 夢と志を持ち、たくましく生きる人間性豊かな児童の育成

創作活動を通して
 地域の知恵と技が生きる

地域のなかで活動
 地域の人々を支える

心をつなぐ
 「もも」の活動を通して

村田町立村田小学校



〒989-1306 宮城県柴田郡村田町字迫6 TEL:0224-83-2049 FAX:0224-83-2136 児童数 328名 PTA会員数 2544
 あいこは、「咲かそう、さげないな」の花さ、大玉にしよう 自分の夢を」



地域に根ざした教育活動（むらたっ子応援団・学習ボランティア）

2年 まちたんけん
 ・ボランティアさんと一緒に学校
 周辺の散歩に行きました。

6年 紅花の学習会
 ・ボランティアさんから紅花
 についてや流通の歴史で
 あったことを聞きました。

3年 大豆の種植え
 ・ボランティアさんの力添えにより秋の収穫
 を願って、大豆の種を播きます。

村田町立村田第一中学校



〒989-1305 柴田郡村田町大字村田字七小路92
 TEL:0224-83-2104 Fax:0224-83-5865
 生徒数：192名 PTA会員数：175名

コロナに負けない！村田一中の地域連携活動

社会科出前授業



布袋まつり伝承活動



飛翔祭を支える保護者



コロナ禍の中、生徒会が企画した
 「飛翔祭」を、地域や保護者の方
 々が種々を面でサポートしてくだ
 さった。

中止となった布袋まつりを校
 内で再現し、上級生が下級生
 に伝統を伝えた。

村田町立村田第三中学校

〒989-1321 柴田郡村田町大字浪辺字二丁目3番地
 電話 0224-83-2428
 FAX 0224-83-5211
 Mail: info@murata2-jhs.murata-town.ed.jp
 生徒数 74名 2年32名 3年22名
 PTA会員数 34名 (保護者数 71名、教員数 13名)



心をつなぐ
 活用事業

農業体験学習

☆ 水稲耕作・紅花栽培
 4月 紅花種まき
 5月 田植え
 7月 紅花収穫
 9月 稲刈り
 脱穀・糠米

チャレンジタイム

☆ 和楽器演奏
 ☆ 創作劇
 伝統芸能等の習得を自
 指し、その原案を文化祭
 で発表します。

地域教育力の活用

☆ 職業人講話
 ☆ 交通安全教室
 ☆ 携帯電話安全教室
 地域の専門家の方から
 指導いただきます、生徒を育
 みます。

柴田町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

柴田町教育委員会では、平成23年度から実施してきた「柴田町協働教育プラットフォーム事業」を引き継ぎ、家庭・地域・学校の協働による教育活動を通じた家庭・地域の教育力の向上や学校教育の充実、子どもたちの健全育成や地域住民の自己実現と社会参画の推進を目的とした「柴田町協働教育推進事業（地域学校協働活動推進事業）」を実施している。

2 地域学校協働本部について

平成26年度から設置している柴田町協働教育推進委員会を、平成29年度から地域学校協働本部と位置付けし、委嘱された推進委員が年2回、事業の方向性や現状、課題等を共有している。また、平成26年度からコーディネーターを配置。平成30年度からは経験豊かな地域コーディネーターを統括コーディネーターに委嘱し、令和元年度からは地域学校協働活動推進員として、統括コーディネーターと地域コーディネーターによるコーディネート体制の組織化を実現。学校並びにボランティアがともに目的を共有できるよう工夫し、両者の負担を軽減した結果、地域学習や地域貢献活動等、子どもたちが地域の「もの・こと」と関わる活動まで広がりを見せている。

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援活動

事業名	内 容	備 考
子育て・親育ち講座	町内各小学校の就学時発達検査の待ち時間を活用し、家庭における基本的なしつけの重要性について保護者が学ぶ機会を提供。 ◆作成・指導：県家庭教育支援チーム協議委員 中保良子氏 ◆講師：家庭教育支援チーム地域実践リーダー 柴田町子育てサポーター「すきっぷ」 佐々木恵美氏	柴田町子育てサポーター「すきっぷ」には講話講師に加え、講話サポートやアイスブレイク、子どもの見守りを依頼。 会場：町内6小学校 参加：285名
イクメン講座	父子のふれあいや父親の積極的な育児参加を促すとともに、父親同士の交流を深めながら子育てについて楽しく学ぶことをテーマとした講座を開催。 ◆①③柴田町地域おこし協力隊 吉田謙治氏、河合賢治氏 ◆②菊地克三氏（えっぐ工房「殻」）	【参加親子14組29名】 ①ダッチオープンでキャンプ飯 参加親子 6組12名 ②たまごの学校 参加親子 4組8名 ③親子で簡単アウトドアクッキング 参加親子 4組9名
親のみちしるべ出前講座	宮城県版親の学びのプログラム「親のみちしるべ」を活用し、子育て中の親同士等が交流を図りながら親自身の気づきや子育てについて学び合うための出前講座を開催。 ◆柴田町子育てサポーター「すきっぷ」 佐々木恵美氏	子育て支援ネットワーク協議会及び子育てサークル代表者会議にて、活用の呼びかけ。

<p>子育て・親育ち 思春期講座</p>	<p>中学校入学説明会を活用し、保護者に子どもの中学校入学前の心構えとして、思春期の特徴や親としての関わり方を学ぶ機会を提供。</p> <p>◆作成・指導：県家庭教育支援チーム協議委員 中保良子氏</p> <p>◆講師：県家庭教育支援チーム地域実践 リーダー 柴田町子育てサポーター「すきっふ」 佐々木恵美氏</p>	<p>【参加（予定）332名】</p> <p>①船岡中学校 146名 （船岡・東船岡小学校）</p> <p>②槻木中学校 89名 （槻木・柴田小学校）</p> <p>③船迫中学校 82名 （船迫小学校）</p> <p>④西住小学校 15名</p>
<p>「子育て支援ネットワーク協議会」を通じた連携と情報交換の強化</p>	<p>子育て支援に関する事業の企画・立案や柴田町子育てサポーターの養成・派遣、関係機関・施設間の連絡・連携体制の強化を図ることを目的に年4回開催。</p> <p>◆事務局：子育て支援センター</p>	<p>構成員 13名（子ども家庭課，健康推進課，生涯学習課，幼稚園，保育所，児童館，社会福祉協議会，子育てサポーター，子育て支援センター（事務局））</p>



【イクメン講座】



【子育て・親育ち講座】



【子育て・親育ち思春期講座
（事前研修会）】

（2）地域活動

事業名	内容	備考
<p>柴田町子どもフェスティバルの開催</p>	<p>子ども会育成会連絡協議会，柴田町教育委員会の共催事業。子どもが一堂に会し，地区子ども会等が設けた遊びのコーナーでさまざまな体験をする。異年齢集団や異世代間，親子の交流の場を提供する。</p>	<p>子どもフェスティバル実行委員会を組織し企画・運営。10月24日開催予定だったが，新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し中止。</p>
<p>ジュニア・リーダーの育成</p>	<p>子ども会活動の活性化，次世代のリーダー育成。初級研修会・町技術研修会の実施。中級・上級研修会への参加。定例会・自主企画イベントの開催。</p> <p>※「子ども会活動」及び「子どもフェスティバル」の支援，「姉妹・歴史友好都市シニアリーダー研修・交流会の実施」は，新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し中止。</p> <p>在籍数：高校生9名，中学生9名，計18名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初級研修会 6/27 参加3名， 7/3～4 参加4名 ・中級研修会 7月10，11日 参加5名 ・上級研修会 12月25，26日 参加5名 ・町自主企画 12月19日開催。1月16日，3月13日開催予定。 ・町技術研修会 3月初旬 参加予定18名

		8/22 に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症によるまん延防止措置が発令されたため、延期。
--	--	---



【ジュニア・リーダー初級研修会】 【ジュニア・リーダー自主企画】

【定例会】

(3) 学校支援活動

事業名	内 容	備 考
しばたっ子応援団(学校支援ボランティア)の派遣	学校の支援要請に応じて「しばたっ子応援団(学校支援ボランティア)」を派遣する。 この活動は、地域と学校が連携・協働して、幅広い地域住民の参画により、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域の人と人とのつながりを作ることを目的としている。	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数(12月末現在) 個人38名、任意団体20団体(210名)、事業所等45事業所 計248名(延べ人数) 活動状況(12月末現在) 40件(延べ186回)、活動人数214名(延べ550名)
キャリア教育支援 ①職場体験学習受入 事業所等と学校との連絡調整 ②ビジネスマナー講座の開催 ③キャリアセミナー(職業人の話を聞く会)の開催	町内中学校が推進する「志教育」、「進路指導・キャリア教育」等の教育活動を教育委員会や地域が支援する体制を整備し、学校教育の充実を図る。 ①町内3中学校の職場体験学習の実施にあたり、学校支援活動事務局(生涯学習課)が窓口となり、町内の事業所等に職場体験学習の受入依頼、連絡調整を行う。 ②職場体験学習の事前学習として、大河原商業高等学校の出前講座「職場体験学習に向けたマナー講座」を実施する。 ③学校、教育委員会との協働により、町内外のさまざまな職業人との車座によるふれあいや講話を通し、進路に関する意識を高め、今の学校生活が将来の生活に結びついていることを確認する機会をつくる。	① 引受事業所数46事業所 ② 船岡中2学年(151名) 槻木中2学年(106名) 船迫中2学年(56名) ③ 参加予定者数と講師数 <ul style="list-style-type: none"> 船岡中1学年(158名) ※講師(22名) 槻木中1学年(95名) ※講師(15名) 船迫中1,2学年(127名) ※講師(20名)
協働教育推進委員会(地域学校協働本部)の開催	平成26年4月より設置。年2回開催。地域学校協働本部として、協働による教育活動を通じ家庭・地域の教育力の向上を図るとともに、学校教育の充実や子どもたちの健全育成、住民の生きがいや、やりがいづくりを推	校長会担当校長、町内小中学校地域連携担当教諭、教育委員会各課・生涯学習施設職員、しばたっ子応援団員、生涯学習課職員(事務

	進する。また、委員相互の連携を深めながら情報を共有し、より良い地域学校協働活動推進のために資質の向上を図る。	局) の計 35 名で構成
しばたっ子応援団(学校支援ボランティア)研修会	地域と学校が連携・協働した教育活動の充実に向け、学校のニーズに合った活動のボランティアの役割を再確認する。また、学校とボランティアの交流・情報交換を通じ、協働することの有効性の共通理解を高め、地域全体で子どもたちの健全育成を図る。	8月4日開催 参加37名：協働教育推進委員(地域学校協働本部員)、しばたっ子応援団員、地域学校協働活動に関心のある教職員等



【キャリアセミナー講師研修会】



【職場体験学習】



【総合的な学習の支援】

4 成果と課題

(1) 成果

①家庭教育支援活動

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を施しながら、今年度も全校で「子育て・親育ち講座」及び「子育て・親育ち思春期講座」を開催予定である。「親のみちしるべ出前講座」はグループワークを伴うため、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催が難しく、今年度は依頼が無かった。
- ・町内の幼児保小中、子育て支援センター、子ども家庭課、健康推進課、社会福祉協議会との連携、情報交換を密にすることにより、町として系統立てた家庭教育支援体制を構築することができた。

②地域活動

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、ジュニア・リーダー活動のPRは「チラシ」及び「動画」、「SNS」等を活用し、中学生の新規会員4名入会につなげることができた。また、研修会や活動等を通じ、ジュニア・リーダーの資質向上を図ることができた。

③学校支援活動

- ・新型コロナウイルス感染拡大が続く中、感染症対策について各小中学校とボランティアのルール(健康チェックシートの提出など)についても慣れてきたおかげで、コロナ前に実施していた活動や新規事業について対策を講じたうえで進めることができ、地域連携担当の先生や担当の先生のアイデアをある程度形にすることができた。また、継続的な支援にするため、地域住民だけではなく町内外の事業所ともつながりを作っている。

(2) 課題

関わっていただいているボランティアの高齢化などの課題はあるが、喫緊の課題等は今のところないので、今後も継続して地域学校協働活動を実施し、児童・生徒に切れ目なく、安定した学習の機会を提供することができるよう、関係機関と協議・連携し、事業展開を図る。



柴田町立船岡小学校
Fumatoika elementary school

〒989-1604 柴田郡柴田町船岡1丁目2番30号
Tel.0224-55-1064 Fax.0224-55-5185
児童数 533名 PTA会員数 409名

豊かな心をもち 自ら考える たくましい児童の育成
児童の頑張りを応援する合言葉 **いい知恵(知) いい汗(体) いい笑顔(顔)**

外国語活動の推進
～ISQA/FALTEUCCI～



志教育の推進
～年ごとに「志」をテーマに推進～



外国語活動へのJOV活動



JOVとは、ジュニア、おんてい、ボランティアの頭文字を取って、子どもたちが主体的に活躍する場を創出しています。

志教育の推進



児童・文化・地域・国際教育の推進と、児童・文化・地域・国際教育の推進と、児童・文化・地域・国際教育の推進と、児童・文化・地域・国際教育の推進と。

児童教育の推進



児童教育の推進と、児童教育の推進と、児童教育の推進と、児童教育の推進と。



柴田町立槻木小学校

〒989-1758 宮城県柴田郡柴田町槻木駅西2-14-1
TEL0224-56-1029 Fax0224-56-4617
児童数 457名 PTA会員 356名

地域と連携した教育活動(読み聞かせ, 総合的な学習の時間, ゲストティーチャー)

読み聞かせ



読み聞かせの活動を行い、地域や自然を感じる心を持っていきます。

総合的な学習の時間



児童がそれぞれの関心をもち、興味や関心などの活動を行い、地域や自然を感じる心を持っていきます。

ゲストティーチャー



「しばたっ子応援団」からゲストティーチャーを招いて学習を行い、ゲストの思いに胸を打たせていきます。



柴田町立柴田小学校

〒989-1761 宮城県柴田郡柴田町大字柴田字鶴谷30
TEL 0224(56)1430 FAX 0224(56)1818
児童数 41名 PTA会員数 27名

地域の誇りをもち 自ら考える たくましい児童の育成

地域の方との関わり



地域の方との関わりを大切にし、地域の誇りをもち、自ら考える児童の育成に努めています。

地域への思いを育てる・大島橋



大島橋の歴史や文化を学び、地域の誇りをもち、自ら考える児童の育成に努めています。

地域の誇りを大切にする



地域の誇りを大切にし、地域の誇りをもち、自ら考える児童の育成に努めています。

児童教育の推進



児童教育の推進と、児童教育の推進と、児童教育の推進と、児童教育の推進と。



柴田町立船迫小学校

〒989-1622 宮城県柴田郡柴田町船迫3丁目103
TEL 0224-55-5394 FAX 0224-55-1262
児童数371名 PTA会員数283名

地域と協働して開かれた学校づくりは努める

学習支援ボランティア



「しばたっ子応援団」を活用し、家庭科の学習支援をしていただいている。

安全ボランティア



地域の皆様を毎日、児童の登下校時の安全を守っていただいている。

福祉体験活動



社会福祉協議会の方にサポートをいただき、福祉体験を行っている。

柴田町立西住小学校

〒989-1606 宮城県柴田郡柴田町大字船岡字大住町6-1
電話 0224(53)3227 FAX 0224(52)0615
児童数 106名
上級員数 80名

地域と連携した教育（協働教育）活動



地域貢献活動
協働的な学習の一環で高学年児童が地域の清掃活動に協力しています。4年生は、知能と交流活動補助員として、1～3年生は、ふれあい活動の一環として、地域の方と一緒に活動しています。



赤本先生
柴田町と船岡大字との連携により、赤本先生（赤本先生）が、1年生から6年生までの児童の学習に協力しています。また、地域のボランティア活動にも積極的に参加しています。



放課後学習室
柴田町教育委員会と連携した「放課後学習室」には、半年度は中学年以上の児童が40名ほど参加しています。また、放課後の学習活動として、地域のボランティア活動にも積極的に参加しています。



しばたっ子応援団
ボランティア組織「しばたっ子応援団」から、清掃活動や運動会に協力しています。また、地域のボランティア活動にも積極的に参加しています。

家庭で学び、学校で深めて、地域と連携して、学校を自覚して



柴田町立東船岡小学校

〒989-1811 宮城県柴田郡柴田町大字上名字下川93-1
児童数 282名
TEL 0224-55-1811 FAX 0224-55-2515 P.会員数 218名

読書支援



読書タイムの読み聞かせや、図書支援協力（読書・図書環境整備）を行っています。

防災安全支援



下校時に地域の方々が通学路で安全を思わせる活動を行っています。

学習支援



地域の方が講師となり、仙台大學生が学習をサポートしています。

東船岡秋祭り



児童とPTA、地域の方々が一体となって「東船岡秋祭り」を開催しています。

柴田町立船岡中学校

教育目標：豊かな品性・強い心身・確かな知性をそなえた生徒の育成

〒989-1606 宮城県柴田郡柴田町大字船岡字七作26
TEL 0224-55-1162 FAX 0224-55-5444
URL <http://www.tamaki-shiibaru-mch.ed.jp> E-MAIL info@tamaki-shiibaru-mch.ed.jp 生徒数 459名 P.会員数 431名

キャリアセミナー（志教育）



総合的な学習の時間で、3年間を通してキャリア教育の推進を図っています。また、地域のボランティア活動にも積極的に参加しています。

地域体験学習（ふるさと教育）



「ふるさと」をテーマとする学習に、「ふるさと」の歴史や文化を学ぶ機会を設けています。また、地域のボランティア活動にも積極的に参加しています。

防災学習（安全教育）



安全な学習環境の確保を目的として、防災学習を行っています。また、地域のボランティア活動にも積極的に参加しています。



柴田町立槻木中学校

〒989-1757 宮城県柴田郡柴田町槻木東2-3-1
TEL 0224-56-1331 FAX 0224-56-4267

生徒数 306名
P.会員数 283名

あいさつ運動



地域の方と一緒にあいさつ運動をしました。

小中連携



昨年度は教壇でまよせんでしたが、生徒会の生徒と近隣の小学生と一緒に朝の挨拶運動をしました。

地域の教育力



1年生の学習で地域の歴史を教わりました。



柴田町立船迫中学校

〒997-0203 山形県柴田市船迫 1-1-2
TEL 0234-54-1121
FAX 0234-54-1125
〒997-0203 山形県柴田市船迫 1-1-2

校訓 敬愛・探究・勤労

学校教育目標 豊かな情操をもち、自立的に生きる生徒の育成



ラバンダー活動



校車のラバンダーを使い、ラバンダースティックやボフリを作り、来校者や公民館等に配ります。

園芸体験



町内の事業所での体験を通じて、仕事の楽しさや楽しさを喜び取ります。

キャリアセミナー



様々な職業で働く方々から聞くことの意義や楽しみ等について話を聞きます。

竹藪づくり 地域清掃活動



竹の植栽から一人一本の竹藪を作り、地域清掃活動として、落ち葉清掃を行います。